

気持ちを周囲に伝える力

～不安や困っていることに向き合う～

令和6年10月11日



楽しみながら、そして時に悩みながら取り組んできた組体操。

ひとり技は完璧な子ども達ですが、友達と協力する技は自分の役割を分かっている、共に行う仲間全員が分かっているとスムーズに技は決まりません。そんな時に「なんでだろう…」「難しい…」「忘れちゃった…」と子どもたちの“困りや不安”を保育者や友達、保護者に伝えてくれることが多く見られました。「助けて～！困ってるよ～」と自分の負の気持ちを伝える事は大人でも躊躇したり、向き合うことが難しいこともありますよね。でも今の子ども達はその自分の気持ちと向き合い、どうしたらいいのか、どう解決するのか考えようとする力が伸びているように感じます。

今回は組体操の技の形と名前的一致について悩みが多かったので、写真で掲示し目で見てわかるようにしてみました。すると子ども達が自然と集まり、互いに自分の“困りや不安”を伝え実際に共にやってみたり、押しあて上げる姿が見られましたよ。

子ども達の自分の気持ちと向き合う姿を認め、周囲へ伝え解決する力をこれからも伸ばせるよう保育しています。

全てを大人が教え込まなくても少しの援助で解決できることが増えています。そんな素敵な子ども達の姿を大切に関わっていきたいです。